

PCI関連による合併症

出来る限り安全を計り、PCI手技による合併症を抑えるべく行っております。PCIが危険と判断した場合、バイパス手術を信頼できる病院へ紹介するよう心掛けています。以下のような合併症を併発しておりますが、安全域であり、他施設と比べても平均的な合併症数と考えます。

1.待機的PCI

	総症例数	手術成功例	重大合併症
2008年度(6月末現在)	53	49/53(92.5%)	1/53(1.9%)
2007年度	112	108/112(96.4%)	0/112(0%)
2006年度	90	84/90(93.3%)	3.8%
2005年度	87	83/87(95.4%)	0%
2004年度	95	90/95(94.7%)	1.1%
2003年度	95	93/95(97.9%)	0%
2002年度	95	91/95(95.8%)	1.1%

2.緊急PCI

	総症例数 (急性心筋梗塞)	手術成功例	重大合併症
2008年度(6月末現在)	16 (13)	16/16(100%)	0%
2007年度	29 (23)	29/29(100%)	3.4%
2006年度	26 (23)	25/26(96.2%)	0%
2005年度	29 (26)	29/29(100%)	3.4%
2004年度	36 (32)	34/36(94.4%)	0%
2003年度	57 (40)	56/57(98.2%)	3.5%
2002年度	44 (30)	42/44(95.5%)	0%

※ 重大合併症とは、亜急性血栓性閉塞、急性心筋梗塞、急性腎不全、緊急冠動脈バイパス術、死亡(PCI施行後72時間以内)の全てを含む。